



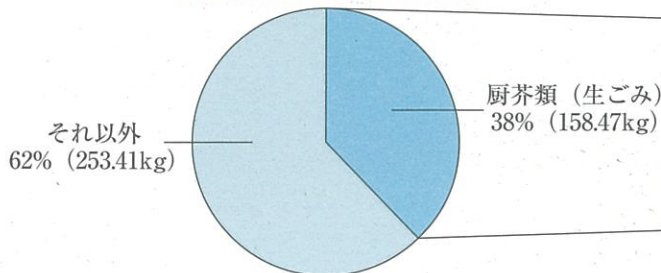
ごみスリムリっとう 42 vol.

食品ロスの発生量調査と 食品ロスアンケートを行いました！

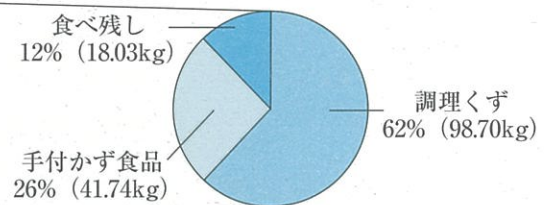
栗東市では、平成25年3月に策定した「第二次栗東市環境基本計画」で、市、市民、事業者、滞在者がそれぞれの役割を認識し、連携してごみの発生抑制と再資源化、減量化に取り組み、できる限りごみを出さない循環型の地域社会を目指しています。

ごみ減量施策の進捗を把握し、今後の施策検討に活用するため、ホームページ等で食品ロスに関するアンケートを実施し意識調査を行いました。また、環境省支援*1のもと家庭から排出される食品ロス（ちゅうがいのり厨芥類）の状況（調理くず、手付かず食品、食べ残し等）について調査しました。

【厨芥類(生ごみ)の割合】



【厨芥類(生ごみ) 3分類の割合】



* 1 : 平成29年度市区町村食品ロス実態調査支援事業

調査方法

市内集積所より15ヶ所を選定。可燃ごみのうち、生ごみを選別した後、①調理くず②手付かず食品③食べ残しに分類し、それぞれの重量を測定。

厨芥類 3分類

- ①調理くずー調理過程から排出された非可食分（野菜・果物の皮、くず、芯、魚の骨・内臓、エビの殻、鳥獣の骨など）
- ②手付かず食品ー購入後、手を付けられずに捨てられたものや、購入後ほとんど手を付けられずに捨てられた概ね50%以上の原形を残すもの
- ③食べ残しー調理され又は生のまま食卓にのぼったものの食べ残し

今回の調査の結果、「手付かず食品」と「食べ残し」が厨芥類（生ごみ）の38%を占め、さらにその60%以上が「手付かず食品」となっていました。手付かず食品には、まだ食べられる野菜類や賞味期限切れのお菓子類も多くみられました。

「手付かず食品」と「食べ残し」は、商品購入等にかかった費用に加え、それらを焼却処理する費用がかかります。食品ロス（食べ物のムダ）は「もったいない」だけでなく、その処理にみなさんの税金が投入されているのが現状です。



捨てられていた「手付かズの食品」の一部

食品ロスアンケートの集計結果は、ホームページに掲載します。

事業報告

栗東市生活環境保全推進会議との合同研修

10月16日(月)開催 三重中央開発株式会社 (三重県伊賀市)

三重中央開発株式会社は、廃棄物の収集運搬、中間処理、再資源化までを一手に引き受けるトータル処理を得意とする会社です。多種多様な廃棄物の性状に応じた処理施設で、廃棄物の無害化・リサイクルを促進されていることを学びました。栗東市のごみを焼却してできる焼却灰の一部もここに運ばれ、再資源化・最終処分されています。最終処分場の跡地利用も積極的に行われており、多くの方が利用できる公園などに生まれ変わっています。当日はあいにくの雨でしたが、バスによる処理施設・最終処分場の見学もできました。



事業報告

ごみ減量とリサイクルに関する学習会

11月18日(土) 「考えよう！食品ロスと生ごみ減量」

ごみ減量とリサイクルに関する学習会には、大阪ごみ減量推進会議 幹事 北井弘氏を講師にお迎えし、栗東市のごみの現状(一人1日あたりのごみ排出量やリサイクル率、一人あたりの年間ごみ処理経費など)について全国平均と比較して分かりやすく講演いただきました。また、関西の自治体の焼却灰を毎年2,000t埋め立てしている最終処分場 大阪湾フェニックスの全処分場が平成39年度にはいっぱいになる予定のため、ごみ減量や4R=Refuse(リフューズ:断る)、Reduce(リデュース:減らす)、Reuse(リユース:再使用する)、Recycle(リサイクル:再生する)の実践が必要というお話もありました。

後半のグループワークでは、講演内容や食品ロス、生ごみ減量について活発な意見交換をおこないました。

参加者の声(抜粋)

栗東市のごみ現状について、具体的なデータ(平成27年環境省調査)があって分かりやすかった。



食品の買いすぎや、買い物前の冷蔵庫チェック、安売りにとびつかないなど、買い物のあり方を考えさせられた。

グループワークでは、生ごみ減量や地域の集積場運営等について意見交換できた。

家庭での食品ロスを意識したことがなかったが、生ごみ減量や4Rに取り組んでいきたい。

事業報告

12月16日(土) 年末ごみ拾い

栗東中学校～JR手原駅周辺とJR栗東駅周辺の清掃活動に、各種団体や市民の方々総勢157名にご参加いただきました。

今回の清掃活動で回収したごみ総量は約150kgでした。ご参加いただいた皆様、ありがとうございました。

お知らせ

コミュニティセンターに「小型家電回収ボックス」が設置されました！

1月からコミュニティセンター（下記6ヶ所）に「小型家電回収ボックス」が設置されました。資源の有効利用と環境汚染防止のため小型家電のリサイクルにご協力ください。



■設置場所：葉山・治田・治田西・大宝・大宝西・金勝各コミュニティセンター

■利用時間：各コミュニティセンター開館時間内

■回収できる家電のサイズ：回収ボックスの投入口（約25cm×10cm）に入るもの
※投入口より大きい家電は「集団回収」で回収されます。

水銀廃棄物の拠点回収がはじまりました!! （家庭から出るごみに限る）

水銀の排出を削減し、地球規模の水銀汚染防止をめざす「水銀に関する水俣条約」の発効を受けて、市でも水銀汚染防止をさらに推進するため、ご家庭から出る水銀を含む製品の一部について、無料拠点回収がはじまりました。

■拠点回収対象物：水銀体温計、水銀血圧計、蛍光灯（割れている蛍光灯は、指定のごみ袋に入れて破砕ごみとして集積場に出してください）

■拠点回収実施場所：環境政策課（市役所3F）、栗東市環境センター

■受付時間：8:30~17:15（土・日曜日、祝祭日、年末年始を除く）

栗東総合産業(株)さんより、「栗東さんプロジェクト」についてご紹介いただきました！



栗東市内で廃棄物処理事業を展開している栗東総合産業(株)では、栗東市民の方のお困りごとを少しでも解決したいという思いから皆様のご意見を取り入れてサービスを進化させるべく「栗東さんプロジェクト」を立ち上げました。

プロジェクトの一つとして平成29年7月29日に「大解剖パッカー車の仕組みを見てみよう」を開催いたしました。この企画はお子さまたちからパッカー車を身近で見てみたいというご要望があり企画しました。このイベントでは、パッカー車へごみを積み込んだり、実際に運転席に座ってみる体験だけでなく、ごみのリサイクルなどの環境に関する勉強もしました。

お子さま達も初めは大きな音で動くパッカー車に驚き遠くから見守る感じでしたが、実際にパッカー車に触れてみると目を輝かせ喜んでくれていました。

ごみを分別することで自分たちの身近なものにリサイクルされていることを勉強し分別の必要性を知り、最後にはお子さまから無駄なごみは出さない・分別して出すと言っていたいただき企画して良かったと思えました。



このイベントをきっかけに、子どもたちや地域のみなさんがごみのことを身近に感じ、分別やリサイクル、ごみ減量などについて考えてもらえるといいね

このイベントは今年も開催を予定されています。夏休みの環境学習にぴったりだね。



事業報告

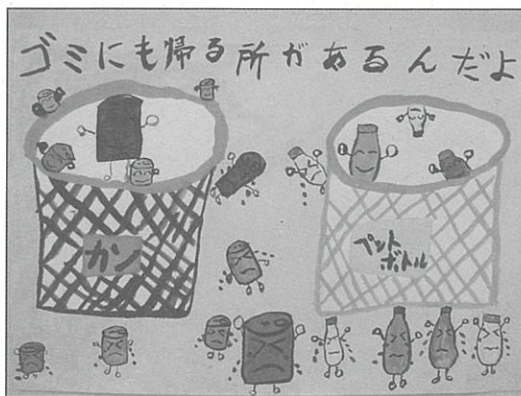
環境を考えるポスター 受賞作品

市内小学生を対象とした「環境を考えるポスター」には、市内小学生27名から応募がありました。最優秀賞作品は、啓発品（ポケットティッシュ）として活用させていただきます。

みなさんの思いのこもった作品をありがとうございました。

最優秀賞

葉山小学校3年 増川咲希
「ゴミにも帰る所があるんだよ」



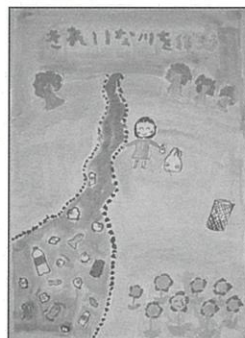
優秀賞

治田小学校1年 藤田智樹
「ごみのぶんべつとリサイクル」



優秀賞

葉山小学校6年 青木沙知
「ポイステやめよう」



佳作

葉山小学校5年 北村彩乃
「きれいな川を作ろう」



佳作

葉山小学校6年 西澤 空
「食べ物を大切に」

お知らせ ごみゼロ大作戦

平成30年5月27日(日)開催 小雨決行・荒天中止

場所：栗東市役所周辺

受付：午前9時

清掃時間：午前9時30分～11時頃まで

- ・当日は清掃活動がしやすい服装でおこしください。
- ・ごみ袋、軍手等の清掃用具は準備します。
- ・飲み物等は各自でご準備ください。

主催：栗東市・栗東市生活環境保全推進会議・栗東市ごみ減量リサイクル推進会議



「平成29年のごみゼロ大作戦より」

編集・発行 栗東市ごみ減量リサイクル推進会議

栗東市ごみ減量リサイクル推進会議事務局（栗東市役所環境政策課生活環境係）

TEL 077-551-0341 FAX 077-554-1123 Eメール kankyoseisaku@city.ritto.lg.jp



環境保護のためベジタブルインキを使用しています。

この広報紙は、古紙パルプを配合しています。